

### 農場長より

一昨年度は体育館、昨年度は南校舎の耐震改修工事が行われましたが、24年度は本校舎の大規模改修耐震工事が予定されており、校舎内外とも新しく生まれ変わる事になります。

農業実習用産振備品については、スライドモア、米袋用のリフト、クリーンシーダー、シリンダカッター、温室用ベンチ等総8品目が配置されるなど、充実してきています。1月25日の校内研究発表大会では、9つの研究発表があり、「シクラメンの水耕栽培の研究」が最優秀となるなど、学習・研究活動も活発になっております。



(校内研究発表大会)

### 作物部門

今年度から、そば打ち実習を授業に組み入れ、「しっかりとそば打ちができる」「そば打ち段位認定を目指す」を目標に進めました。山都町はそばの栽培が盛んで、そば資料館やそば道場、そば屋さんが並地帯があります。こうした地域の指導力を活用したそば打ち名人を講師に招いた地域と連携した授業が始まりました。

作物圃場の生育は水稲以外順調に終わりましたが、原発事故風評被害、夏の豪雨による断水被害など、価格低迷・水稲の生育障害による収量減等があり、千先農場の農産物にとっては甚大な被害の年となりました。



(そば打ち)

### 畜産部門

本年度の総括をします。まず、生産部門ですが、肉牛はA4等級2頭、A3等級が2頭、A2等級が2頭という結果でした。売り上げも最高値が約64万円で最安値は約41万円でした。平均は約38万円の結果となりました。震災の影響で平均価格は昨年の半値の結果でした。

次に子牛の生産ですが、今年度の出荷はなく、人工授精で5月に子牛が生まれる予定です。導入牛については震災の影響で避難した親子の2頭が相馬農業高校から入りました。

最後にプロジェクト研究ですが、3年生は、「和牛の経営の研究」について、2年生は、「肉質改善の研究」についてそれぞれ研究を行いました。1月に行われた校内発表では、研究半ばでもあるため入賞を逃しましたが、良い経験が出来たと思います。引き続き研究を進めていきたいと思ひます。



(本校牛肉A4等級)

### 野菜部門

今年度の野菜部門は、天候にとっても恵まれて夏野菜は元気よく生育してくれました。秋冬野菜も、その後のハウス内の葉菜類も順調に生育し、生徒の実習も充実した内容になりました。本年度は原発事故の影響から販売不振が予想されましたが、山都町内、喜多方市内のみなさんには、例年と変わらず沢山野菜を買って頂き、ありがとうございました。また、来年度も「安全で美味しい野菜」をお届けできるよう実習に励んでいきたいと思ひます。

今年もハウス内に電熱線を設置し、3月上旬から来年度の野菜の種まきを始めます。春には野菜苗の販売を行いますので、購入をご希望される方は、生徒を通して注文頂くか学校までご連絡下さい。なお、ゴールデンウィーク明けには販売できるよう生徒と一緒に準備を進めていきたいと思ひます。



(野菜栽培管理様子)

### 草花部門

今年度のご愛顧に感謝します。来年度も引き続き《安全・安価で高品質の草花を地域に提供する！》ことをモットーに取り組んでいきます。消費者の皆様へ愛されることで、販売実習を終えて黄色い手かごを振りながら帰ってくる生徒の笑顔にその取り組みが現れると思ひます。

現在、本校温室には卒業を祝うかのように、プリムラ・シネラリア・パンジーが咲き乱れております。本校の卒業式を皮切りに喜多方市内の小・中学校の卒業式も彩ることになります。また、来年も喜多方市のオブジェを制作することになりました。お楽しみください。

さて、問題です。右の写真はどこかわかりますか？  
 ここは、ワシントンホテルプライダブルブースです。テーブルにシクラメンの水耕栽培が置いてあります。水中には癒やし系生き物を入れています。何でしょうか。ご想像ください。このような楽しみ方も提供していきたいと思ひます。ワシントンホテル様のご協力に感謝します。



(シクラメンの水耕栽培)

### 農業クラブより

1月25日に『校内研究発表大会』が行われました。これは、授業の科目『農業科学基礎』の1年生と、『課題研究』の2・3年生が作物・畜産・草花・野菜の4部門を専攻し、研究テーマに沿って1年間調査・研究したデータをパソコンでまとめたものを発表する場です。各部門から代表を1題選んで発表に臨みました。

審査員の先生からは「地域に根ざした発表も多く良かった。調査や活動状況の写真などを多く取り入れた発表ができるとうい。」といった講評をいただくことが出来ました。

なお、最優秀賞となった草花班の発表した「シクラメン水耕栽培の研究」が、来年度行われる県学校農業クラブ連盟主催の意見・研究発表県大会での本校代表として出場することになります。

